

しゃこたん

令和7年

11月号

No.767

～ まちが、地域が盛り上がる ～

地域の“ソコヂカラ”



＝第1回積丹オータムフェスティバル（10月12日・美国町）＝

主な内容

- 令和6年度各会計決算から見るまちの財政
- 大阪・関西万博 リーダーシップ部門・チャンピオン
- 令和7年第3回町議会定例会
- 悲惨なクマの人身被害に警戒を！

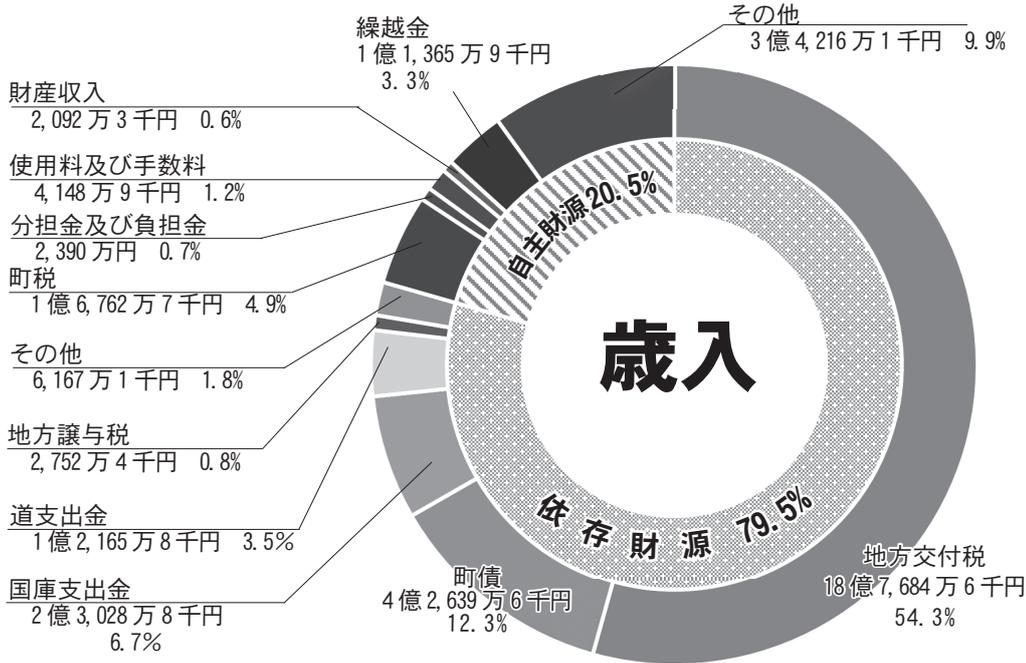
積丹半島と神威岬



北海道遺産

一般会計

歳入決算額 **34億5,414万2千円** (対前年度 1億1,365万9千円 減)



令和6年度各会計決算から見る

まちの財政

令和6年度の各会計歳入歳出決算が、9月30日招集の第3回町議会定例会で認定されました。

町の財政「台所事情」の現状についてお知らせします。

歳入財源の80%を

国等に依存

町税収入1億6千万円(4.9%)

令和6年度一般会計及び特別会計の歳入総額は37億6,432万5千円(前年度比7,279万1千円、1.9%減)、歳出総額は36億6,595万5千円(前年度比5,640万3千円、1.5%減)、差し引き9,837万5千円で、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は9,698万7千円でした。

また、一般会計歳入額の約80%が、地方交付税など国等からの依存財源であり、町税収入

は、わずか5%にとどまっています。

特別会計への赤字補填

9,000万円

一般会計の財政運営を圧迫

一般会計歳出額では、地域おこし協力隊や地域生活交通バス運行の業務委託料等を含む物件費が前年比約1億4千万円増となったものの、公共工事をはじめとする投資的経費が前年比約1億6千万円減となるなど、合計で4,886万4千円の減となりました。

また、一般会計から、特別会計及び公営企業会計への繰出金総額は、1億8,249万9千円で、約9,000万円の基準外繰入金により赤字を補填している決算状況にあり、一般会計の財政運営に大きな影響を及ぼしています。

町税・使用料等の滞納は行政サービスの維持を困難に！

限られた歳入財源の下で、「健全財政の維持」、「公共行政サービスの維持向上」、「地域の活性化」という3つの町の課題の克服と両立を図っていくためには、町の台所の重要性に対する町民の皆さんの理解と認識の共有が大切です。

特に、国保税や町営住宅使用料、水道使用料等の滞納による収納率の低下は、冬の除排雪や医療保険、ゴミ収集、水道水の安定供給など身近な公共行政サービスの水準維持を困難にし、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼします。

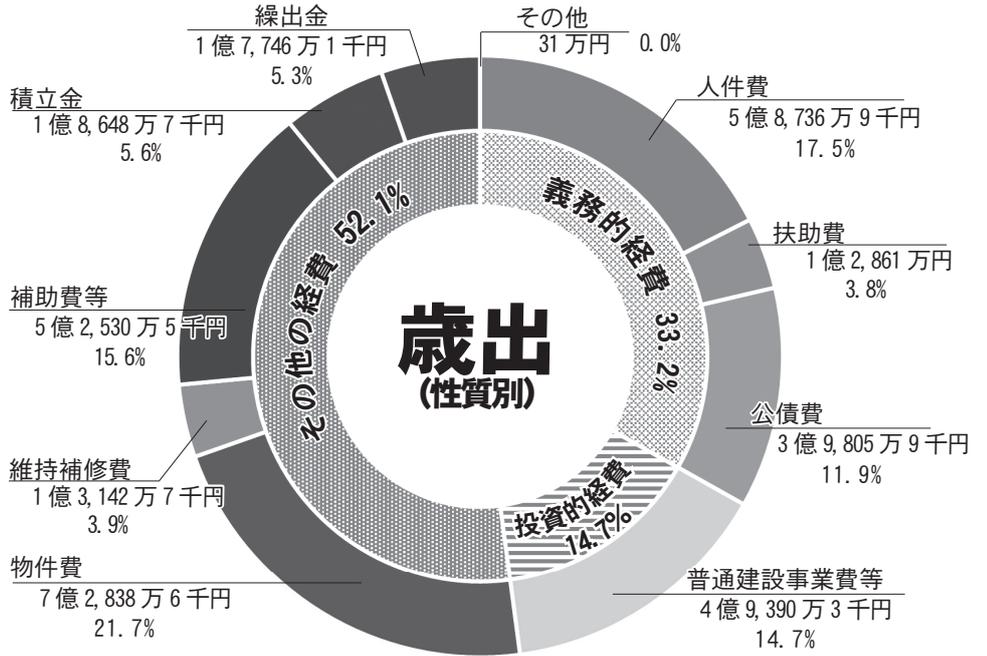
町民の皆さんの納期内完納にご理解とご協力をお願いいたします。

一般会計

歳出決算額 33億5,731万7千円 (対前年度 4,886万4千円 減)

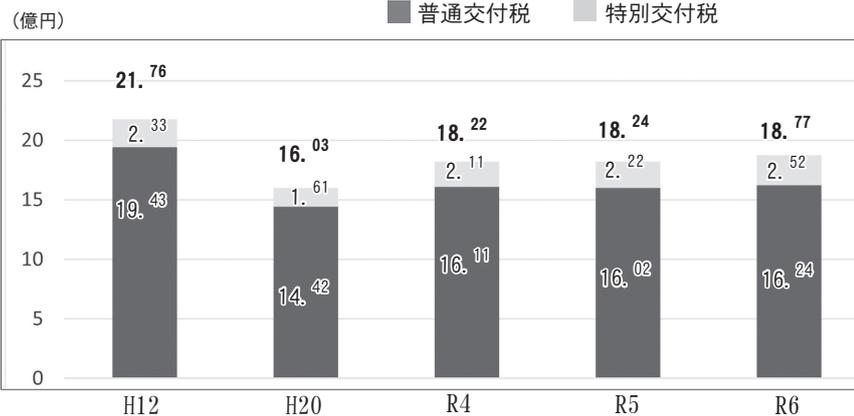
歳出 (目的別) (千円)

区分	歳出額	構成比
議会費	56,003	1.7%
総務費	1,147,406	34.2%
民生費	449,846	13.4%
衛生費	309,216	9.2%
農林水産業費	131,768	3.9%
商工費	160,657	4.8%
土木費	266,668	7.9%
消防費	206,447	6.2%
教育費	222,859	6.6%
公債費	398,059	11.9%
その他	8,389	0.2%
合計	3,357,317	100%



計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

地方交付税の推移



地方交付税の使いみち

	地方交付税	比較	主な使途経費 (①+②+③+④+⑤)	過不足額
R 5	1,824	<	1,844	△ 20
R 6	1,877	>	1,816	61
R 7 (予算)	1,873	<	1,952	△ 79



積丹町の歳入財源の最も大きい地方交付税 (54.3%) の使途は、①人件費、②扶助費 (医療費等)、③公債費 (借入金償還費)、④補助費等 (消防組合の負担金等)、⑤特別会計繰出金などの義務的・固定的な支出だけで占められています。

監査委員の一般会計及び特別会計決算審査結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、予算の執行及び関連する事務の処理は、適正に行われているものと認められる。

代表監査委員 山田 文雄
監査委員 笹山 義治

監査委員の簡易水道事業会計及び集落排水事業会計決算審査結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当事業の当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

代表監査委員 山田 文雄
監査委員 笹山 義治

特別会計 歳入歳出決算額

会計名		歳入決算額		歳出決算額
			一般会計からの繰入金 (内 基準外繰入金)	
国民健康 保険事業	事業勘定	1億2,656万3千円	3,116万8千円 (0円)	1億2,501万3千円
	直診勘定	8,963万6千円	4,274万8千円 (3,512万6千円)	8,963万6千円
介護福祉サービス事業		4,847万4千円	3,084万0千円 (3,060万4千円)	4,847万4千円
後期高齢者医療		4,551万0千円	1,528万4千円 (20万4千円)	4,551万0千円
合計		3億1,018万3千円	1億2,004万0千円 (6,593万4千円)	3億 863万3千円

計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

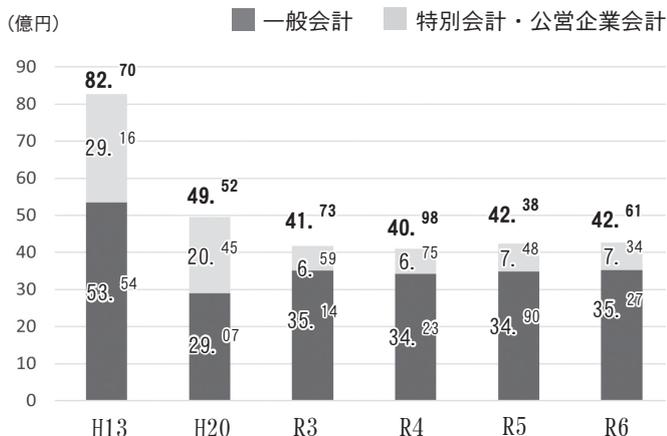
公営企業会計 収入支出決算額

会計名	区分	収入	支出	差引
簡易水道事業	収益的	1億1,647万7千円	1億4,383万0千円	△2,735万3千円
	資本的	6,390万0千円	9,342万2千円	△2,952万2千円
集落排水事業	収益的	7,385万6千円	6,978万5千円	407万1千円
	資本的	4,480万0千円	7,265万7千円	△2,785万7千円

計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

まちの借金（地方債）と貯金（基金）の現状は？

■ 地方債残高の推移



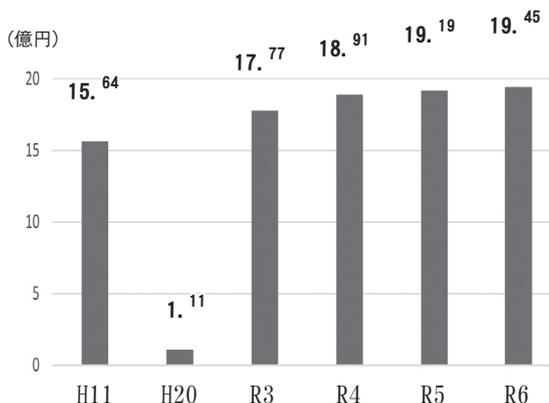
R6 地方債活用事業の一例

■ 除雪機械購入事業



総事業費：3,989万7千円
うち過疎対策事業債：1,980万円

■ 基金積立金の推移



令和6年度は、減債基金に1億1,971万円、ふるさと振興基金*4,921万円など合計2億285万円を積立て、ふるさと振興基金などから1億7,770万円取崩しを行い、全18基金の総保有残額は19億4,458万円です。

【基金残高の内訳】

- 1位 減債基金 6億7,773万円
- 2位 備荒資金 4億403万円
- 3位 財政調整基金 3億58万円
- 4位 ふるさと振興基金 1億7,846万円
- 5位 公用及び公共用施設整備基金 8,610万円
- 6位 土地開発基金 7,730万円

* ふるさと振興基金の積立額は、ふるさと納税寄附金から返礼品等経費を差し引いた残額が主なものです。

ウニ循環型藻場造成「積丹方式」とブルーカーボンプロジェクト

9月30日、EXPO2025大阪・関西万博会場内の海洋資源の持続的活用と海洋生態系の保護を学ぶパビリオン「ブルーオーシャンドーム」で開催された、第6回ジャパン・サステナブルシーフード・アワード授賞式（主催：ジャパン・サステナブルシーフード・アワード実行委員会（津田祐樹実行委員長（フィッシャーマン・ジャ

パン・マーケティング代表取締役社長）で、積丹町の「北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会」（会長：茂木隆文東しゃこたん漁協組合長）がリーダーシップ部門チャンピオンの栄冠に輝きました！

このコンテストは、持続可能な水産業の推進や普及に貢献する取り組みを表彰するコンテストで、リーダーシップ部門は、画期的な業界のパイオニア的存在となり、周囲が次に続くような取り組みであることが重視されます。

日本国内のみならずアジア圏から過去最多、極めてハイレベルな応募の中から、積丹町はこの部門で唯一無二の「チャンピオン」に輝きました。

『ウニ殻を肥料として藻場を再生し、ウニ資源を循環的に活用する「積丹方式」が機能し、

経済効果を上げたこと、さらに、廃棄物削減、二酸化炭素吸収による温暖化対策、生物多様性（豊かな海づくり）等も同時に達成する世界初の循環型モデルであり、他地域にも応用可能なプロジェクトである、他に類を見ない正にリーダーシップ部門のチャンピオンにふさわしい団体である』と審査委員から絶賛をいただきました。

コンテストに応募した内容は、「積丹方式」による循環型藻場造成の実践ですが、その背景には、昭和40年代から始まった、塩ウニから折ウニへの生産

形態の一大革新、世界初の

エゾバフンウニ天然採苗・

海中中間育成、水産種苗生

産センターの建設運営、オ

イイタドリ（野草）の飼料化、

人工種苗生産の導入、そして年

間150万粒の広域5漁協種苗

供給体制の実践という、漁業者

たちの半世紀以上にも及ぶ持続

可能なウニ漁業への挑戦が礎とな

っています。

このチャンピオンの栄冠は、

先人達の築いた永い歴史と、そ

の意志を受け継いだ若い漁業者

たちの地道な活動が評価された

証です。

今、積丹町では、ウニ殻肥料

製造の事業化によるブルーカー

ボン事業の拡大や、森・川・海・

漁村文化をテーマにした流域環

境教育などの漁港を起点とした

「海業」という新たなビジネス

モデルによる、リーダーシップ

部門チャンピオンの名にふさわ



しい町づくりの新たな動きが始まっており、さらなる発展に期待が高まっています。

北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会

（総括）

●東しゃこたん漁業協同組合

（藻場造成活動）

●美国・美しい海づくり協議会

●余別・海 HUG くみたい

（養殖コンブ生産）

●美国地区浅海部会

●積丹地区浅海部会

（資金援助・教育活動）

（技術指導・事務）

●榊積丹スピリット

●積丹町

行政報告 (要約)

令和7年第3回町議会定例会が9月30日に招集され、報告3件、議案13件、発議1件、意見案1件が審議され、10月9日に閉会しました。そのあらましについてお知らせします。

行政報告

関係の醸成と全道179市町村の一員としての自治体の使命と信頼を担い、また、今日の地方議会に期待されております「開かれた議会運営」を通じて、町民全体の代表として私たちの郷土積丹町のまちづくりと町勢の進展に一層のご尽力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

令和6年度各会計決算の認定 実質収支 前年度比2・0%減

一般会計及び特別会計の歳入総額は37億6,432万5千円、歳出総額は36億6,595万円で、差し引き9,837万5千円で、翌年度に繰り越すべき財源138万8千円を控除した実質収支は9,698万7千円(同20.1万円、2.0%減)となりました。

2 公営企業会計の収益的及び資本的収入総額は、2億9,448万9千円、同支出総額は、3億8,066万1千円となりました。

全会計の地方債残高は、

42億6,139万1千円、基金総残高19億4,457万8千円、全会計期間中の一時借入金総額4億円(同1億円、20.0%減)です。

また、一般会計から、特別会計及び公営企業会計への繰出金総額は、1億8,249万9千円で、約9,000万円の基準外繰入金により赤字を補填している決算状況にあり、一般会計の財政運営に特に大きな影響を及ぼしています。

令和7年度普通交付税交付金等の状況 前年比97.2万円(0.6%)減

7月29日に普通交付税の総額が決定され、前年度実績比97.2万7千円、0.6%減の16億1,473万2千円となりました。

今年度当初予算計上比では326万8千円減と厳しい算定結果となり、地方公共団体情報システム標準化等対策、広域廃棄物処理対策、職員人件費・物件費等行政経費等の増高など、年度内の新たな地方負担増が見込まれ、それら財源の確保が懸念されるところです。

また、今年度の過疎対策事業債及び辺地対策事業債が、計画事業等の需要増により、北海道の充足率は約83%と非常に厳しい状況にあり、今後、年度途中において、同債から一般財源への財源変更や他の地方債への振替措置等により、今年度既に着手している計画事業の執行を確保するなど、不確実な要因が極めて多い財政運営が続いています。

限られた歳入財源の下で、「健全財政の維持」と「公共行政サービスの維持向上」と「地域の活性化」という普遍的な「町の三つの課題」の均衡ある両立と克服を基本とした行政運営に引き続き努力します。

岬の湯しやこたん「源泉の異状」への対応状況 源泉通水復旧へ

8月21日招集の第4回臨時会での行政報告の後の動向についてご報告します。

温泉資源活用実証調査は、8月4日から深度503mから545m区間に温泉採取区間を設けるスプリッター作業(パーフォレーター穿孔)を実施し、

はじめに

議員の就任にあたって

9月14日執行されました積丹町議会議員選挙におきまして、多くの町民のご支持を得て、ご当選されました議員各位に、心からお祝いを申し上げます。

議員各位におかれましては、今、厳しさと難しさが増す地方自治体の環境下にあります。自己決定・自己責任という地方分権時代の基本理念をいつも町民と共有し、町の内外との信頼



同温泉採取区間からの揚湯が確認されましたが、同月18日には、安定した湧出量の確保が見込めない状況に変化したため、同月20日から、深度400m、436mと460m、490mの2区間の温泉採取区間の増設を試みた結果、同増設区間からの揚湯が確認されましたので、同月25日から約90時間連続揚湯試験を実施しました。

同試験の結果、「湧出量」、「泉温」、「動水位」が安定したことが確認され、その泉源の温泉分析調査を実施し、9月8日にその結果の一部が判明しました。

主な内容は、

- ①湧出量 毎分32L
- ②泉温 41・1℃
- ③泉質 ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物温泉「低張性中性温泉」

温泉分析調査結果を踏まえた検討の結果、湧出量・揚湯量の安定度の確認管理と、泉温の低下防止策を確保維持するため、「水位計の設置」と「給配水管経路等の改良」の追加措置が有効不可欠であるとの専門家の助言も踏まえて、同調査事業による温泉用水中ポンプ設置作業工

程と追加施工作業工程との迅速な実施により、作業時間の効率性と経費の経済性が図られ、温泉施設への泉源通水試用の早期化も可能となるなどの観点から、追加対応措置の緊要性について総合的に判断をし、追加の措置を実施することとしました。

また、本件対応措置の緊要性と臨時議会の招集日程の困難性を勘案して、9月10日付けで専決処分による補正予算措置を講じたうえ、同月16日、同追加調査委託業務を契約し、現在実施中です。

9月22日から「水位計の設置」と「給配水管経路等の改良」の追加措置を実施しました。10月6日現在、岬の湯しゃこたんへ通水し、昨年8月から「泉源の異状」が続いていましたが、現時点では安定した温泉水を利用できています。

揚湯量は毎分32L、入湯施設内の2次温泉槽での泉温は、約42℃です。

また、令和7年11月20日までの調査事業期間中、引き続き「湧出量」、「泉温」及び「泉質」等の安定性の確認や持続可能な

泉源活用要件の検討及び岬の湯しゃこたん温泉入浴施設への通水試用試験等についての調査を実施します。

総務課関係

北海道原子力防災総合訓練

10月29日実施される北海道主催の同訓練は、オフサイトセンター運営訓練のほか、泊村・共和町PAZ5km圏2町村と本町などUPZ30km圏4町村での住民避難訓練が計画されています。

また、町独自訓練として、美国小学校放射線防護施設において、町職員による放射線防護対策の知識習得研修等の訓練を予定しています。

企画課関係

後志広域連合の動向

8月5日、第1回後志広域連合会議が開催され、第1回後志広域連合議会臨時会付議案件などについての協議が行われました。同臨時会は同月27日招集さ

れ、提出された同連合が加盟する全道広域3組合規約の一部変更、令和7年度一般会計補正予算及び介護保険事業特別会計補正予算の議案5件が原案どおり可決されました。

北海道信用金庫古平支店美国出張所の古平支店内への店舗移転

10月31日営業終了、11月4日店舗移転に伴い、かねてより同金庫へ要請していた「ATM機器の町内設置」については、11月4日から美国郵便局内に同機器が設置され利用者の利便性の確保が図られることになりました。

北海道信用金庫 古平支店 美国出張所は、古平支店内へ「移転」します！

北海道信用金庫古平支店美国出張所(美国町)は、10月31日(金)の営業を最後に、11月4日(火)より古平支店(古平町浜町)内に移転します。また、移転後の11月4日(火)から美国郵便局に北海道信用金庫のATMが設置されます。なお、硬貨の取り扱いはできません。

コープさっぽろ「ふれあいの森」サイド余別」廃止の動向

令和7年第1回定例町議会行政報告で申し述べましたとおり、同協の同施設解体計画、建設時の林地開発行為等関係法令手続きの確認及び同協所有地と町有賃貸地等の跡地利用の方向性等について協議を重ねていきます。それら同協の方針等については、町へ文書での提出を要請しており、提出がほしい、町議会及び町内関係団体への報告の機会を予定しています。

【説明会実施】

10月23日 余別地区
24日 日司・入舸地区

地域おこし協力隊

10月31日現在 8事業所・13名
9月1日現在、8事業所12名の地域おこし協力隊が配置され、活動中です。

また、今年度、新たに地域おこし協力隊受入事業所として決定した5事業所では、各事業所において採用隊員の人選作業中です。

「インターン協力隊」は、インターン受入事業所として決定した9事業所のうち、6事業所で6名の採用を決定し活動中です。

小型風力発電施設設置変更計画の動向

8月21日、同計画事業者の来町を求め、町議会議員との懇談会を開催し、平成28年からの経緯を含む「小型風力発電施設設置変更計画案」について事業者から説明を受けました。

同変更計画案に基づく事業実施箇所となる町有地の貸付変更処分決定に際して事前に、関係地区住民（入舸町・日司町・余別町）を対象とした意向再確認のための地区説明会の開催を調整中です。

ふるさと納税寄附金

8月末現在の返礼品取扱登録事業者は、34事業者、403品目で、寄附件数及び金額は、1,906件（前年同期比1,372件、256.9%増）、2,848万9,000円（同1,202万1,200円、73.0%増）です。

住民福祉課関係

高齢者福祉施設の熱中症対策

特別養護老人ホーム「ゆうるり」内の空調設備が7月3日に完成し、昨年度設置したエイジングステーション「やすらぎ」及び「のぞみ」を含む町内高齢者福祉施設の熱中症予防環境整備対策が完了しました。

国保診療所関係

外来患者数等の状況

8月末現在の外来患者数の状況は、延べ1,612人（1日平均16人、診療日数100日）で、前年同期と比較し、昨年度より診療日数が増加したことにより92人増となりましたが、1日の外来患者数では平均2人減（前年度1,520人、1日平均18人、診療日数83日）という状況です。

保育所関係

保育所の運営状況

9月1日現在の入所児童数は、びくに保育所が22人（前年度比1人減）、みなと保育所は5人（前年度比3人増）です。

子育て支援センターの運営状況

8月末現在の利用者数は、延べ198人（前年度比504人減）、1日平均1.9人の利用です。



商工観光課関係

観光施設の利用状況

8月末現在の「しゃこたん土産と喰処カムイ番屋」は、5、723万4千円の売上金額で、前年同期比336万2千円減（5.5%減）となり、神威岬周辺の強風等による遊歩道の一部利用規制などの影響等により、入込数も減の状況にあります。

また、「水中展望船」は、2、382万9千円の売上金額で、前年同期比749万円増（45.8%増）で、6月から8月の間、好天に恵まれた週末が多く、売上金額及び入込数ともに前年同期を上回っている状況です。

神威岬灯台PR推進事業の 実施状況

8月23日と24日、神威岬灯台特別参観日イベント（主催：株）SHAKOTAN海森学校（代表取締役：小山彩由里）と連携して、「神威岬灯台擬人化キャラクター」のノベルティ（缶バッジ等）の啓発グッズを配布し、本町の観光や神威岬灯台のPR活動を実施しまし

た。
両日も天候に恵まれて多くの観光客が訪れ、特に神威岬灯台と第一等不動レンズ展示室の両参観者総数は270名でした。

「地域観光魅力向上事業」の 採択

（一社）北海道ガストロノミー協議会（札幌市：理事長 李濟民（小樽商科大学名誉教授）が国土交通省観光庁の官民連携観光振興施策に応募した、小樽市と積丹町での地域の食文化等資源の活用体験を通じた滞在型周遊観光モデル造成の可能性を探る体験型観光ツアー事業の補助採択を受けたとの連絡がありました。

本町の「滞在型観光」の推進に資する官民連携の取り組みに協力支援します。

観光PR活動

小樽港での大型クルーズ船乗船客観光PR活動のほか、8月3日に札幌競馬場での物産展、8月23日と24日には、札幌市（大和ハウスプレミストーム）

で開催された「STVどさんこフェスティバル（大ほっかいどう祭）」に参加し、観光と物産のPRを行うなど、観光協会と連携して当町の魅力発信に努めています。

「ゴミ持ち帰り運動」

9月4日、町内の団体並びに小樽開発建設部小樽道路事務所及び北海道後志総合振興局水産課等126人の参加をいただき、町内各地区の海岸環境美化清掃「クリーン作戦」を実施しました。

運動に参加いただいた町民の皆さん並びに関係機関の方々に感謝を申し上げます。

農林水産課関係

農業の概況

畑作物は、気温の高い日が続いた影響で、一部の作物で高温障害がみられるものの、ミニトマト、カボチャ、馬鈴薯などのほか菜種、小麦などの穀物類を含む作物全般が概ね順調に生育しています。

畜産業は、依然として価格が低調な黒毛和牛の市場の需要・価格の回復が待たれています。

ヒグマ等被害防止対策の状況

ヒグマが市街地に現れた際に、市町村長の判断で猟銃の使用が可能となる「緊急銃猟」を定めた改正鳥獣保護管理法が9月1日施行されました。

当町においても9月11日、北海道猟友会余市支部古平分区ハンター、余市警察署員、北後志消防組合積丹支署職員、町職員等が参加し、改正法に基づく捕獲実施活動を想定したハンター要請から捕獲までの一連の対応の実践確認とその際の課題の把握を目的とした実地訓練を行いました。

一方、改正法に基づく実施者を市町村長とする緊急銃猟によるヒグマ捕獲の実施は、現場での住民安全確保対策等「緊急銃猟実施条件」の迅速な判断の難しさや、市町村長、自治体職員及びハンター等関係従事者の法的責任を負う危険性と保障、第三者への補償措置等克服すべき課題も多いため、現在、北海道・

道市長会・道町村会が国へのヒグマ被害緊急対策要請活動を続けています。

9月18日現在のヒグマ出没情報は、過去最高の36件（令和6年16件）で、目撃情報多発地区に捕獲用檻4基を設置し、これまでに、美国町2頭、野塚町で2頭を捕獲したほか、河川管理者及び道路管理者による美国川・積丹川周辺及び国道229号美国峠沿道の草刈りによる初めての予防対策が実施されました。

10月6日現在ヒグマ捕獲数 7頭

（美国町3頭、野塚町3頭、余別町1頭）

また、農業被害防止等のため、農業者による電気牧柵設置と併せて、町が地元猟友会の協力を得て、被害集中地区における銃器によるエゾシカの捕獲活動と、今年度はくくり罠による捕獲を実施して対策の強化に努め、これまでに、エゾシカ26頭を捕獲しました。

分収造林事業の実施状況

婦美2団地の下刈り施業（7・00ha）は8月22日に、美国団地新植施業（2・11ha）は6

月6日、同下刈り施業（9・09ha）は8月29日に完了し、現在、同団地地拵施業（3・07ha）を11月末の完了を目指して実施中です。

また、婦美団地六地区基幹作業道開設工事（延長237m）は12月10日を工期に施工中です。

町有林の整備

昨年度、立木販売方式により伐採・売却した、婦美町字婦美401番1の町有林（昭和32年植栽カラマツ約10・81ha）跡地のうち4・93haの地拵・植栽施業委託業務は、本年11月末の完了を目指して実施中です。

また、隣接地約0・77haにおいては、“JTの森積丹”積丹川流域エリア森林整備計画事業の一環として、10月19日開催予定の“森づくりの日”の植林地験活動を計画しています。10月19日の植林地験活動は中止としました。

漁業の概況

8月末現在の東しゃこたん漁

業協同組合当町管内の水揚げ状況は、前年不漁のウニ、エビの水揚げが若干増加したものの、ホッケ、タコなど魚種全般の水揚げ量が前年に比べて減少し、漁獲高では前年同期比1、570万円（3・1%）減の状況で推移しています。

建設課関係

建設工事等の発注状況

総契約45件、5億1、696万円
9月18日現在の建設工事の発注状況は、土木関係9件、建築関係12件、上下水道関係4件の

計25件、工事契約金額は3億6、928万1千円です。
委託業務は、土木関係10件、上下水道関係8件、地籍関係2件の計20件、委託契約金額は1億4、768万6千円です。

工事と委託業務を合わせた総契約件数は45件、総契約金額は5億1、696万7千円です。
今後、茶津川護岸整備工事、河川浚渫等維持補修工事、島武意海岸探勝路被災対策治山工事、道路照明LED化更新工事、除排雪委託業務の発注を予定しています。

●現在実施中の業務（令和7年9月18日現在）

- ①積丹町地籍調査事業（繰越分）委託業務
- ②積丹町地籍調査事業委託業務
- ③野塚2号橋長寿命化修繕実施設計委託業務
- ④町道等照明LED化事業実施設計委託業務
- ⑤島武意海岸探勝路被災対策事業実施計画委託業務（補助小規模治山事業）
- ⑥積丹町橋梁点検調査委託業務
- ⑦積丹町トンネル点検調査委託業務
- ⑧簡易水道事業会計支援委託業務
- ⑨集落排水事業会計支援委託業務
- ⑩簡易水道事業会計システム保守委託業務
- ⑪集落排水事業会計システム保守委託業務
- ⑫神威岬遊歩道等改修実施設計委託業務
- ⑬温泉資源活用実証調査委託業務
- ⑭水道施設水質計器点検委託業務
- ⑮美国配水池清掃点検委託業務
- ⑯簡易水道事業会計経営戦略策定委託業務
- ⑰集落排水事業会計経営戦略策定委託業務
- ⑱美国流雪溝管理制御システム他保守点検委託業務
- ⑲温泉資源活用実証調査委託業務その2



●現在施工中の工事（令和7年9月18日現在）

①高齢者福祉施設改修工事（建築工事）	⑫量水器取替工事
②"（機械設備工事）	⑬幌武意地区水産飲雑用水施設更新工事
③"（電気設備工事）	⑭来岸地区集落排水施設更新工事（浄化槽設置工事）
④積丹町クリーンセンター改修工事	⑮"（電気設備工事）
⑤美国団地長寿命化等改修工事	⑯積丹町役場会議室空調設備整備工事
⑥"（電気設備工事）	⑰分収造林事業 婦美団地六地区基幹作業道開設工事
⑦積丹町内小中学校エアコン整備工事（機械設備工事）	⑱町道維持補修工事
⑧"（電気設備工事）	⑲分収造林事業 婦美団地六地区基幹作業道開設工事（仮設工事）
⑨黒岡橋長寿命化修繕工事	⑳積丹岬遊歩道改修工事
⑩和田橋長寿命化修繕工事	㉑美国小学校放射線防護施設修繕工事
⑪神威岬自然公園遊歩道等改修工事	㉒茶津トンネル照明LED化修繕工事

教育行政報告

去る9月14日執行されました積丹町議会議員選挙におきまして、多くの町民のご支持を得て立候補され、ご当選されました9名の議員各位に対しまして、心からお祝い申し上げます。

令和7年度全国学力・学習状況調査

本年4月14日から17日までの間に実施された本調査の結果が、このほど文部科学省から送付されました。

今年度の調査では、対象者はこれまでと同様に小学6年生と中学3年生で、教科については国語、算数・数学及び理科の3教科が実施され、このうち中学校理科については、新たに生徒がICT端末から直接回答を入力するシステム（CBT）が導入されたほか、生活習慣や学習環境等についてのアンケートがオンライン形式で行われました。

本町では、小学校2校の6年生が10名、美国中学校3年生10名が調査を受けました。

小学校の調査結果については、平均正答率が国語、算数及び理科の全教科において全国平均を上回り、各教科の学習指導要領の延べ15領域では、全ての領域において平均正答率が全国平均を上回りました。

中学校の国語及び数学の平均正答率については、数学が全国平均を上回り、各教科の学習指導要領の延べ8領域では、4領域において平均正答率が全国平均を上回りました。

また、中学校理科については、今年度新たな取り組みとして、異なる条件下で相互比較が可能な統計理論に基づく学力スコアを算出した結果、全国平均を下回りました。

今後、これらの調査結果を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、児童生徒への学習指導の改善を進めてまいります。

教職員の服務規律の確保の徹底

道外の複数の教員が女子児童を盗撮し、画像などをSNS上で共有したとして逮捕された事件を受けて、7月4日付けで北

海道教育委員会から、札幌市を除く道内全ての公立の小中学校等を対象に、教室や更衣室、トイレなどの盗撮目的のカメラ等の設置について、同月11日までに緊急点検を行うよう通知がありました。

また、児童生徒への性暴力等防止の取り組みとして、全教職員への対面による研修の実施、不必要な物品の撤去など、隠しカメラ等が設置できない環境の整備や児童生徒の撮影及び画像の取り扱いについての指導の徹底など、同月31日までに実施するよう求められたところです。

これらの通知を踏まえ、各校において緊急点検等を実施した結果、カメラ等が設置されていないことを確認し、児童生徒への性暴力等防止の取り組みについても完了したとの報告を受けました。

なお、緊急点検実施後においても、定期的な点検を行うなどして、児童生徒への性暴力等の防止に努めてまいります。

子ども110番の家

警察庁では、子どもが助けを求めてきたときに、その子どもを保護し、警察・学校・家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るボランティア活動「子ども110番の家」を推進しております。

本町においても、平成18年度から地域の皆様のご協力を得て活動を行ってきましたが、社会的変化による協力者の減少や、揭示ステッカーの劣化が著しいため、余市警察署の協力の下、地域の協力体制の見直しを図ることとし、事業所や住宅など、積丹町内28件（美国管内12件、入舸管内7件、余別管内9件）の協力を得て実施しました。

子どもたちが安心して通学できるよう、登下校時や放課後等の児童生徒の安全確保など、地域において犯罪から子どもたちを守る取組を推進してまいります。

美国小学校開校150周年記念事業

本年11月20日の開校記念日をもって150周年を迎える美国小学校では、4月23日開催の開校150周年記念事業打合せ会議において、PTAの方々と教職員で構成する実行委員会（実行委員長・池田和聡^{かずふさ}美国小学校PTA会長）を組織し、11月22日に体育館で記念式典を開催することとしました。

現在、実行委員会では、子どもたちが母校と地域に誇りと愛着を持つ心を育むため、児童、教職員や保護者のもとより、卒業生や地域住民の皆様とともに、開校からこれまでの歴史と先人の努力に思いを馳せながら、感謝の意を深める機会となる式典のプログラムの準備を進めております。

第55回積丹町文化祭

9月16日、文化団体連絡協議会、老人クラブ連合会、各地区婦人会のほか関係団体で構成する積丹町文化祭実行委員会（実行委員長・河岸悟郎文化団体連絡協議会会長）を開催し、絵

画、手芸、陶芸、俳句、書道等の展示の部は11月1日から3日まで、また、町内小学校、老人クラブ等による芸能発表の部は11月2日に総合文化センターにおいて開催することとし、準備を取り進めております。

へき地校体験実習

相互協力協定による北海道教育大学主催の「へき地校体験実習」が9月1日から5日までの5日間、受入校の美国小学校で行われ、2名の学生が教育実習に参加しました。

ICT機器の活用をはじめとした、本町の特色あるへき地・複式教育を体験していただき、実習生が教職の魅力ややりがいを実感できるよう、教職志望意欲を高める取り組みを実施してまいります。

審議された案件

報告第1号

第5次積丹町総合計画実施計画の実施状況について

第5次積丹町総合計画（平成24～令和7年度）の第4期実施計画に係る令和6年度実績について、報告するもの。

（報告）

報告第2号

令和6年度財政健全化判断比率等の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項（健全化判断比率）及び第22条第1項（資金不足比率）の規定に基づき、監査委員の意見を付して報告するもの。

（報告）

報告第3号

専決処分承認を求める件について（令和7年度積丹町一般会計補正予算（第5号））

「温泉資源活用実証調査（町再エネ設備等導入可能性調査事業）」に係る追加調査事業費について、専決処分により、300万円を追加し、歳入歳



出の総額をそれぞれ37億5,873万4千円に補正したものの。

(承認)

議案第1号

監査委員の選任について

山田文雄氏を代表監査委員に選任するため議会の同意を求めらるもの。

山田 文雄 (74歳・美国町)

(同意)

議案第2号

積丹町の区域内に新たに生じた土地の確認について

公有水面埋立法に基づき造成された美国漁港整備(平成6年10月25日免許)に基づく道路護岸敷地について、積丹町の区域内に新たに生じた土地の確認議決。

(原案可決)

議案第3号

積丹町の区域内の字の区域の変更について

積丹町の区域内に新たに生じた土地について、字の区域の変更議決を求めらるもの。

(原案可決)

**令和6年度財政健全化判断比率等審査意見書
(報告第2号・監査委員意見書抜粋)**

■健全化判断比率

健全化判断比率の各項において、早期健全化基準を下回っており、健全な状態である。引き続き、将来を見据えた健全な財政運営を図りながら、町民が安全で安心して生活できる町づくりと町勢発展に努力されたい。

指標名	積丹町	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	15%	20%
②連結実質赤字比率	—	20%	30%
③実質公債費比率	9.7%	25%	35%
④将来負担比率	9.2%	350%	—

* (注) 実質赤字額及び連結実質赤字額がないため、「—」表示しています。

■資金不足比率

会計名	積丹町	経営健全化基準
簡易水道事業会計	—	20%
集落排水事業会計	—	20%

* (注) 資金不足を生じていないため、「—」表示しています。

・簡易水道事業会計

経営健全化審査における資金不足は発生していない。したがって、経営健全化基準の20%と比較すると、良好な状態であると認められる。

・集落排水事業会計

経営健全化審査における資金不足は発生していない。したがって、経営健全化基準の20%と比較すると、良好な状態であると認められる。

議案第4号

令和7年度積丹町一般会計補正予算(第6号)

歳入は、総務費国庫補助金(デジタル基盤改革支援補助金) 2,493万円、基金繰入金(自動車購入基金) 470万円、繰越金(前年度繰越金) 1,211万1千円、雑入(半島振興計画策定検証・調査事業補助

金) 600万円を増額。

歳出は、総務管理費(公用車購入) 495万円、情報処理管理費(標準準拠システムクラウド使用料) 2,493万円、環境衛生費(害虫等駆除業務関連費) 140万円、同

(北後志衛生施設組合負担金) 882万9千円、水産振興費(海業振興関連支援事業補助金) 600万円、小学校費(体育文化推進協議会交付金) 9万8千円、過年度過誤納還付金63万4千円を増額。専決処分後の歳入歳出予算の総額に4,684万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ38億557万5千円にするもの。

(原案可決)

議会ニュース

議案第5号

令和7年度積丹町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入は、国庫補助金(子ども・子育て支援事業費補助金)105万4千円を増額。

歳出は、一般管理費(子ども・子育て支援金制度対応システム改修委託料)105万4千円を増額。

歳入歳出予算の総額に105万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,818万9千円にしようとするもの。

(原案可決)

議案第6号

令和6年度積丹町一般会計決算の認定について

議案第7号

令和6年度積丹町国民健康保険事業特別会計決算の認定について

議案第8号

令和6年度積丹町介護福祉サービス事業特別会計決算の認定について

議案第9号

令和6年度積丹町後期高齢者医療特別会計決算の認定について

議案第10号

令和6年度積丹町簡易水道事業会計決算の認定について(議案第6号から議案第10号いずれも認定)

議案第11号

令和6年度積丹町集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

(原案可決及び認定)

議案第12号

令和7年度積丹町一般会計補正予算(第7号)

歳入は、繰越金(前年度繰越金)235万3千円を増額。

歳出は、他会計繰出金(国民健康保険事業特別会計直診勘定)150万円、農業振興費(ヒグマ被害予防用「鈴」購入費等関連費)85万3千円を増額。

歳入歳出予算の総額に235万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ38億792万8千円にするもの。

の。

(原案可決)

議案第13号

令和7年度積丹町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

直診勘定において、歳入は、一般会計繰入金150万円を増額し、歳出は、施設整備費(給水設備修繕料)150万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億96万3千円にするもの。

(原案可決)

発議第1号

積丹町監査委員条例の一部を改正する条例について

提出者・積丹町議会議員 佐藤 晃
議会議員が選出する監査委員を置かないための条例改正。

(原案可決)

意見案第1号

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

(原案可決)

提出者・積丹町議会議員 馬場 龍彦

提出者・積丹町議会議員 松尾大樹君の議員の資格決定の件

提出者・積丹町議会議員 田村 雄一
(資格審査特別委員会設置・付託)

今月の納期

- 国民健康保険税 第5期
納期限 11月25日(火)
- 介護保険料 第5期
納期限 11月25日(火)
- 後期高齢者医療保険料 第5期
納期限 11月25日(火)
- 固定資産税 第4期
納期限 12月1日(月)
- 上下水道使用料金 10月分
納期限 11月28日(金)
- 住宅使用料 11月分
納期限 12月1日(月)

(注)口座振替をご利用の方は、11月25日(火)に引き落としになりますので、前日までに残高の確認をお願いします。

【問合わせ先】役場税務課 TEL44-3384



議会新体制がスタート!
正副議長・正副委員長
決まる

9月30日、選挙後初めて招集された第3回町議会定例会で、議長・副議長の選挙と常任委員会正副委員長の互選などが行われました。
 新しい町議会の構成は次のとおりです。(敬称略)

議長	山本 俊三	副議長	海田 一時
委員会名	委員長	副委員長	委員
総務文教 常任委員会	逢坂 節子	石田 弘美	海田 一時・馬場 龍彦 岩本 幹兒・田村 雄一 佐藤 晃・松尾 大樹 山本 俊三
産業建設 常任委員会	馬場 龍彦	佐藤 晃	海田 一時・岩本 幹兒 田村 雄一・逢坂 節子 石田 弘美・松尾 大樹 山本 俊三
議運営委員 会	佐藤 晃	石田 弘美	馬場 龍彦・岩本 幹兒 逢坂 節子
広報編集 特別委員会	逢坂 節子	石田 弘美	馬場 龍彦・岩本 幹兒 佐藤 晃

積丹町議会議員選挙における候補者の選挙運動に関する収支報告

令和7年9月14日執行の積丹町議会議員選挙における候補者の出納責任者から提出のあった、選挙運動に関する収支報告書の要旨は、次のとおりです。

積丹町選挙管理委員会委員長 吉田 眞治

■選挙運動費用支出制限額 1,087,000円

届出 番号	候補者氏名	収入の部 (円)			支出の部 (円)							
		寄附	その他の収入	計	人件費	通信費	印刷費	広告費	食料費	休泊費	雑費	計
1	山本 俊三	10,000	242,280	252,280	90,000		54,450	74,130	88,150			306,730
2	笹山 義治		24,550	24,550			61,010		13,460		11,090	85,560
3	石田 弘美		115,500	115,500		19,800	54,450	95,700				169,950
4	逢坂 節子		259,181	259,181	75,000		98,681		18,260	90,000	32,020	313,961
5	馬場 龍彦		80,369	80,369			76,450				3,919	80,369
6	海田 一時		53,280	53,280	35,000		54,450		18,280			107,730
7	松尾 大樹		50,000	50,000	62,500		54,450	12,474			38,500	167,924
8	田村 雄一		12,960	12,960			54,450				12,960	67,410
9	岩本 幹兒		188,871	188,871			88,880	145,000			9,771	243,651
10	佐藤 晃		77,630	77,630			54,450	39,700	37,480		450	132,080

※選挙運動に関する収支報告書は、公職選挙法第192条第1項の規定に基づき公表が義務づけられています。

出没46件、過去最多更新中

悲惨なクマの人身被害に警戒を！

増えすぎたヒグマ／山に木の实少なく

人や家がクマに襲われる被害が全国各地で相次ぐ異常事態が続いています。

町内でも国道・道道・農道、河川敷地、畑や生活道路を横断・徘徊したり、足跡やフンの発見などのクマの出没目撃情報がこれまでに例がないほど多くの件数が駐在所や役場に寄せられています。

初雪の季節を迎える11月、冬眠の前に「エサ」を探して、行動範囲を広げるクマとの遭遇による不慮の事故に遭わないよう警戒しましょう。



増えすぎた「個体数」と

山の「エサ」不足

北海道では、冬眠中や冬眠明けのヒグマを狩る「春グマ駆除」が平成2年に廃止され、原則としてクマの個体数を減らす目的での駆除は禁止されました。増えすぎたヒグマが山からあふれ、人里周辺に定着するクマが増える事態に、道は昨年、今後10年で1万3千頭を駆除する目標を掲げました。

しかし、野生動物のクマの危険から住民生活の安全を守る確実な有効策や個体数削減の具体策を見出せていないのが、現状です。

今秋の全国各地の山では、クマが好むドングリやコクワ、ヤマブドウが凶作で、これまで出没が無かった人里や住宅地の家庭菜園周辺にも、クマがエサを

町内のクマの痕跡・目撃情報件数

	R 5年度	R 6年度	R 7年度
上半期 (4～9月)	36件	18件	46件
下半期 (10～3月)	18件	8件	—
計	54件	26件	(46件)

(R 7年度の件数は、9月末現在)

求めて姿を見せ、その被害が急増しています。

クマ被害者の悲惨な重傷

秋田大学救命救急センターの事例分析結果では、「クマの遭遇被害で死者が出た事故だけでなく、重傷を負った被害者の9割が顔面に、7割が手・腕に、6割が頭部と上半身に外傷が集中しており、その外傷は、鋭い爪での一撃は、時速40～50kmの速度で走行している車とぶつかったような「鈍的外傷」と、

ナイフが刺さったような「鋭的外傷」が合わさった傷になるので、「深く複雑な外傷となる」ほか、精神的な後遺症の割合も高い。」と報道されています。

「クマと対峙」

地域の安全を守るハンターに感謝

集落の周辺に姿を見せるヒグマの山への追いはらい、畑作物やゴミをあさったり、民家近くの出没を繰り返す問題個体の箱わなの設置・駆除やパトロールなど、危険性が極めて高く、銃刀法の規制と責任が重い条件下で、地域の安全を守る善意の使命を担いクマ対策に活躍しているのが、猟友会のハンターの皆さんです。

現在、一般社団法人北海道猟友会余市支部古平分区(古平町・山條力矢分区長)に所属するハンター13名(古平町7名・積丹町6名)の皆さんが、余市警察署と積丹町からの出動要請があつた場合に、町条例に基づく積丹町特別職非常勤職員(鳥獣被害対策実施隊員)として町内のクマ対策の活動に携わっている。

ただいています。

町では、生業の傍ら使命感を最優先にヒグマとの隣り合わせの危険な業務に携わっているハンターの皆さん自身や、対人・対物被害等が発生した場合の賠償責任に備えて、非常勤公務員としての賠償補償保険制度への加入などハンターの身分保障の充実に努めています。

令和7年度
ハンター・警察官・町職員の出勤状況

	日数	延べ人数
ハンター	41日	139人
警察官	18日	23人
町職員	44日	76人

(9月末現在)

自治体も対策に苦慮 国への抜本対策要請

移動性が激しい自然界のクマと人とのあつれきは、生息数の増加による人の生活圏との至近化を起因としており、町民の安

全を守る自治体としての責務を痛感しながらも、広大で分散集落の本町での対策は、担当する余市警察署駐在所の3名の警察官と役場担当職員も農林水産課長を含め5名のみで、猟友会という民間団体の善意の活動に支えられているのが現状です。

町では連日、IP放送で全世界、学校・事業所への啓発や立て看板の増設、小中学生等へのクマ鈴の配布など注意喚起に努めています。

小樽開発建設部と道小樽建設管理部は、クマ出没情報箇所国道や2級河川敷地沿道の草刈りの重点実施を行っています。

また、出没情報の頻発に伴い、観光業の営業休止や地域の野外活動の中止など地域経済にも影響を及ぼしており、苦渋の日々が続いています。

こうした自治体単独でのヒグマ駆除体制の構築や危機対策が限界にきている実情は、多くの道内市町村の共通の緊急課題です。

全道179市町村では、ヒグ

マ被害対策への国の財政支援の拡充強化や警察機関との連携強化、ヒグマ対策専門人材の配置、ハンターの育成・確保、ハンター個人の身分保障の確立のほか、ヒグマを捕獲駆除したときに、市町村や道に対するヒグマとの共生の訴えや心ない苦情の多くに通常業務にも大きな支障を来している現状などへの抜本対策を国へ求める「ヒグマ被害緊急対策に関する要望」を、北海道・北海道市長会・北海道町村会が共同で提出するなどの運動が続けています。

クマ被害から身を守ろう！

凄惨なクマ遭遇被害を防止するため、

- ① 秋のキノコ狩りは避ける
- ② 見通しが悪い早朝や夜間の外出を避ける
- ③ 人の臭いや足音が気づきにくい風の強い日の外出は避ける
- ④ 外出時のクマ鈴やラジオの携行

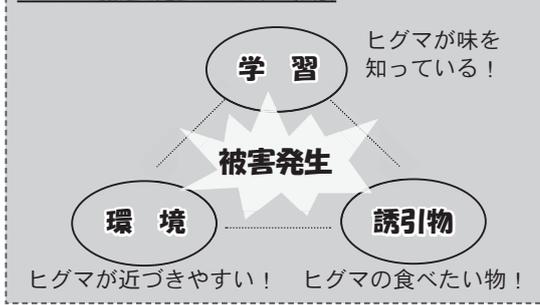
など、危険を避ける自己防衛の対策と警戒をお願いします。

人がヒグマを引きつけないための自己対策を！

ヒグマは食べ物への執着が強い動物です。生ごみや果物、干し魚などの人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目当てに家の近くに繰り返し接近し、人を恐れずに行動するようになります。ヒグマの出没地域に住む人や野山に出かける人は、十分に注意し、危険を避けましょう。

- ゴミ出しのルールを守る。(収集日当日に出す、プラごみはきれいに洗うなど)
- ゴミやペットフード、干物や漬物など匂いのあるものの野外への放置や玄関先に置かない。
- 不要な果樹の伐採と、住宅周辺の茂み・雑草の除去。
- 食べものや容器のポイ捨てをしない。
- 家庭菜園の作物は早めに収穫し、畑に放置しない。
- お墓のお供物は、必ず持ち帰る。 など

ヒグマ被害発生の3大要素



地域・町を
盛り上げる！

地域づくり・まちづくり 大人も子どもも一緒に楽しむ 町内事業者・有志のイベント



～初開催～

第1回積丹オータムフェスティバル

10月12日に「第1回積丹オータムフェスティバル」(しゃこたん未来創造委員会主催)が美国漁港広場で催され、町内外から大勢の参加者が集いました。

町内外の飲食事業者の出店や、町内外あわせて24チームがしのぎを削ったモルック大会、大漁旗で飾られた軽トラをステージに披露されたカラオケ大会と、子どもから大人まで楽しめるバラエティに富んだ内容でした。

最後には、来場者全員でフォークダンスを踊り、会場は一体感で包まれました。

委員長の津金卓^{つがねたくる}さん(美国町)は、開催の感謝と次の開催へ意気込みを述べて、イベントを締めくくりました。

～コミュニティ助成事業～ イベント用テント購入を助成

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、

宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。積丹町自治会等連合会(会長：鎌田淳史東浦町内会長)では、宝くじの助成金でイベント用テント8張などの備品を整備しました。今後も、地域に根差したコミュニティ活動の活性化が期待されます。



姉妹都市交流 - 姉妹都市・高知県香美市へ - 第42回刃物まつりに参加！

積丹町地域間交流推進協議会(会長：馬場龍彦積丹町商工会長)や町議会議員などの訪問団10名が、姉妹都市・高知県香美市で10月18日・19日の2日間開催された「第42回刃物まつり」に参加し、PRブース「積丹町北海物産市場」を出店。積丹半島産^{かほちや}の南瓜^{ばれいしょ}や馬鈴薯^{さげ}のほか、鮭のチャンチャン焼きの販売を通じて、積丹町のPR活動を行いました。

今回のPRブースの出店では、香美市の皆さんに多大なご協力をいただき、用意した商品は連日完売する大盛況となりました。

今年度は、6月に札幌市で開催された「第34回YOSAKOIソーラン祭り」へ合同チームとして参加したほか、冬には積丹町児童の訪問が予定されており、北と南の交流がこれからも続きます。



北後志消防組合積丹支署 — 消防ニュース —

広域通信指令共同化合同訓練 来年4月からの新体制に備える！

9月30日、美国漁港製氷所付近で、積丹支署・古平支署・余市消防署の3署合同で、釣り人が海に落ち、海中に沈んだ状況を想定した水難救助訓練を実施しました。

積丹支署は水難隊、古平支署は救急隊、余市消防署は指揮隊と救助隊をそれぞれ担いました。余市指揮隊の現場統率の下、積丹水難隊が、水面で要救助者の検索と引き揚げ、次に、余市救助隊が救助工作車のクレーンを使用し地上へ救出。最後、古平救急隊が救出された要救助者を救急搬送までの連携を確認しました。



初めての合同訓練は、各隊の情報共有や車両の部署位置等の課題がわかり、今後も訓練を重ねて令和8年4月1日運用の通信指令業務共同化に向けて署・支署間の連携を強化します。

交通事故訓練

町内駐在所2名・余市警察署2名参加



10月9日に積丹支署駐車場で車両2台の交通事故を想定した訓練に消防職員のほか積丹町管内駐在所2名、余市警察署2名が参加。

訓練は、ポンプ隊・タンク隊・救急隊の連携をメインに、ポンプ隊は、車内に閉じ込められた要救助者を大型油圧救助資機材で破壊し救出。タンク隊は、資機材を使用した横転車両の安定化。救急隊は、救出された要救助者の搬送を行いました。

今後町民の安心・安全を守るため日々の訓練に努めます。

■積丹支署各種出動状況 (単位: 件)

	火災	救急	救助	その他
R 7. 9月	0	12	1	1
R 7年累計 (1~9月)	2	98	5	24
R 6年	0	124	13	29

小樽開発建設部便り No.6

冬期間も安全で円滑な交通を維持するために

小樽開発建設部では、国道における車道、歩道の除雪を行っています。



車道部 除雪状況



歩道部 除雪状況

みなさまにお願い。
円滑な除雪作業に、ご協力をお願いします。



路上駐車・放置自動車は除雪の支障となります。



車道への雪出しは交通事故や道路障害の原因になります。



快適・安全な朝の通勤通学のために深夜早朝作業にご協力をお願いします。



路上に雪が残らないようにセンターラインを越えて作業することがあります。ご注意ください。



機械除雪のため、除雪後は玄関前に雪が残ることがあります。除雪後の残雪処理は各ご家庭でお願いします。



除雪後は間口などに段差が出来るのでご注意ください。

まちの日記帳



仲間と一緒に学ぶ

町民文化教室「スマホ&情報アプリ教室」

9月5日と10月3日の2日間、ジャパンケーブルキャスト 榎の久谷弓斗氏を講師に招き、スマートフォンの使い方や町防災アプリをはじめとした各種アプリ、IP電話の活用方法を学び、情報機器への理解を深めました。

参加した方々は、^{ショートメッセージ}SMSやLINEによる連絡の取り方を学びながら交流を深めたほか、スマートフォンの便利機能について楽しく学びました。

9/5

10/3



笑顔あふれる秋の催し

「ゆるり秋祭り」

地域密着型特別養護老人ホーム「ゆるり」（社会福祉法人よいち福祉会）主催で、施設内と駐車場を会場に「ゆるり秋祭り」が開催されました。

施設内では、町内外の飲食店事業者の出店や、お手玉投げやボーリングができるブースが設けられました。駐車場では、正調練場音頭の披露のほか太鼓やYOSAKOIソーランの演舞が行われ、施設入居者と一般参加者は一緒に楽しい時間を過ごしました。

9/20



地域を守る！災害備え炊き出し訓練

日司地区 自主防災組織

日司みなと防災センターで日司町自主防災会（杉野秀幸会長）が災害時に備えた炊き出し訓練を実施し、約20名の会員が参加しました。

今回の訓練では、同会の給食給水班が中心となり、カレーライスを調理しました。参加者は慣れた手つきで、大量の食材を手際よく調理しました。同会では、非常食などの防災備蓄品の点検、会員の役割分担を行うなど災害時の「自助・共助」の大切さを再認識し、今回の訓練の課題や意見を踏まえ、より効率的な避難体制を目指すこととしています。

10/5



栄誉をたたえて！

体育協会「スポーツ表彰式」

積丹町体育協会（石川一寿会長・4団体）が主催する「スポーツ表彰」の表彰式が行われました。

各地で行われたスポーツ大会で優秀な成績をおさめた6名に、表彰状と記念品が石川会長から贈られました。

受賞者へ「日頃の練習の成果に対する評価だと感じて、今後の活動に生かして欲しいです。ますますの活躍に期待しています！」と石川会長はエールを送りました。

◆受賞者一覧◆

スポーツ賞

(中学生)

【卓球部】

山下 真生さん (美国中3年)

村木 葵さん (美国中3年)

野宮 湊輔さん (美国中2年)

【水泳】

木田 昊之介さん (美国中1年)

(小学生)

【陸上】

池田 苺生さん (美国小6年)

池田 怜生さん (美国小5年)



▲村木葵さん ▲山下真生さん ▲野宮湊輔さん ▲木田昊之介さん



▲池田苺生さん ▲池田怜生さん

練習の成果を発揮

「第41回町内ゲートボール大会」

町教育委員会主催の第41回町内ゲートボール大会が積丹町ふれあいゲートボール場（美国町）で行われ、3チーム10名が日頃の練習の成果を発揮し、今シーズンの最後の屋外でのプレーを楽しんでいました。

優勝 積丹Bチーム(主将 田中 フミ子)

準優勝 積丹Cチーム(主将 熊本 和子)

3位 積丹Aチーム(主将 岡崎 一美)

10/14



音楽に親しむ

札幌大谷大学短期大学部「音楽演奏会」

子育て支援センター事業の一環で、音楽に親しむことを目的として、札幌大谷大学短期大学部保育科音楽サークル「にこここ音楽隊」による演奏会が開催されました。

保育士を目指す学生が演奏するもので、ハンドベルによる童話の演奏や、フルートやクラリネット、タンバリンなどの楽器紹介のほか、手遊びなどを楽しみました。

支援センター利用者、両保育所児童のほか地域の皆さんが演奏を楽しみました。

10/15



おしらせ

年金の予約相談実施中

年金事務所では、年金についての予約相談を実施しています。
ご予約の際は、基礎年金番号のわかる年金手帳や年金証書などを準備のうえ、お問い合わせください。

【問い合わせ先】 日本年金機構
TEL 0570-0514890

各種自衛官等を募集します

- ① 一般曹候補生
 - ② 自衛官候補生
 - ◆ 応募資格：18歳～33歳未満
 - ◆ 受験期間
 - ① 9月16日(火)～11月21日(金)
 - ② 10月14日(火)～11月6日(木)
 - ◆ 試験内容
 - 筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査等。
- 陸・海・空自衛隊には、車両・

船・飛行機を扱う職種が100以上あります。試験内容・イベント案内及び各種個別説明など詳しくは、お問い合わせください。

【届出者】 土地の権利取得者（買主等）
【届出期限】 契約締結日から2週間以内
※提出期限を過ぎた場合でも、届出書の提出にご協力願います。

無料法律相談所開設

次のとおり無料法律相談所を開設します。

◆ 日時 11月19日(火)
午後1時～午後4時

◆ 定員 6人

◆ 申込・問い合わせ先

余市町役場 総務課
TEL 01351211211

※ご利用される方は、事前に申し込みが必要となります。

一定面積以上の土地取引に届け出が必要です

土地の売買・賃借・交換・営業譲渡など、一定面積以上の土地取引に係る契約をした場合には、国土利用計画法の規定により、その土地が所在する市町村に届出が必要です。

【届出の対象となる面積】
1万㎡以上

税を考える週間

国税庁では、国民の皆さまに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、1年を通じて租税に関する啓発活動を行うとともに、毎年11月11日～17日を「税を考える週間」として、集中的にさまざまな広報広聴施策を実施しています。

1. 国税庁ホームページによる広報「税を考える週間」に合わせ、国税庁ホームページ内に「これらの社会に向かって」をテーマとした特設ページを設け、国税庁の各種取り組みについて紹介します。
2. SNSを利用した広報「税を考える週間」に合わせて、YouTubeの「国税庁動画チャンネル」に新着動画を掲載するとともに、各種情報をX（旧「Twitter」）で発信します。

3. 小学生の税に関する作品展の開催
余市税務署が主催する「小学生の税に関する書道」の作品展を示次のとおり行います。
児童の皆さまが税について考え、表現した、元氣あふれる作品をぜひご観賞ください。
- ◆ 会場 積丹町総合文化センター
◆ 日時 11月11日(火)～18日(火)
8時30分～21時まで
(月曜・休館日)
- 【展示に関する問い合わせ先】
余市税務署総務課
TEL 013512212093
(ナビダイヤル2番)

— 中央バス(株)よりお知らせ —
「高速しゃこたん号」は、11月30日(日)で運行が終了します。

新しい地域おこし協力隊員を紹介

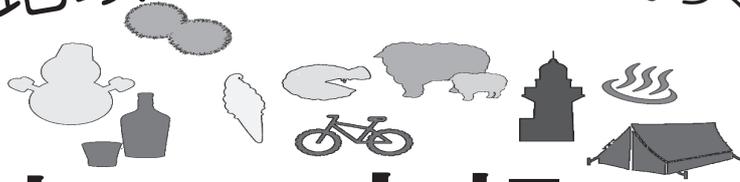


(株)しゃこまる (美国町)

しおざき ゆういち 塩崎 裕一 隊員

積丹の素晴らしい大自然フィールドを多くの方に体感して頂き、自然環境に配慮しながら魅力を伝えて四季の体験、感動を広めていきたいです。

(埼玉県久喜市出身)



町おこし広報

Vol.14

～町内8団体・事業所に13名～ 地域おこし協力隊員の 半年の活動レポート【第2弾】

『地域おこし協力隊』は、町外から人材を受け入れさまざまな町の活性化活動を通じて定住を図り、地域力の維持・強化を目指す国の制度です。

現在、13名の地域おこし協力隊員が活躍中です。各隊員の活動内容や今後の目標などをお知らせします。

澤田 正 さん



【株式会社 TMW PRODUCTIONS】
(2年目)

北海道積丹町物産展を関西エリアで月1ほどのペースで行っており、積丹町の物産を即売したり、催事場で注文いただいた野菜や海産物を後日発送したりと非常に好評です。

この冬は、名古屋、金沢、広島、福岡での開催も決まったので、業務が減るこれからの時期も積丹町の良さを広められるよう頑張っていきます！

山田 拓也 さん



【株式会社 Y's AP】
(2年目)

ふるさと納税関連に従事し、今年は返礼品としてユニや行者ニンニクが多く出ました。返礼品に追加予定の宿泊施設の改修も今年中に完成し、年明けから稼働できそうです。

来年度以降は地元事業者さんと連携した宿泊を伴うアクティビティツアー会社の設立を予定しています。それまでに今やっている活動を継続しつつ冬の準備を始めていきます。

上野 竜也 さん



【株式会社 新生】
(2年目)

新生を中心に撮影・SNS投稿・商品紹介などを行ってきました。

今後は冬期間に開発する新商品を紹介し、自社商品を通じて積丹の魅力を広めていきたいと考えています。

結城 杏政 さん



【株式会社 AK Konzern】
(2年目)

積丹岳の雪景色を眺めてから6カ月。

カフェ、堆肥作りや収穫、薪割り、鶏や子豚の世話などで忙しい日々を送りつつ、色づく積丹の自然に癒やされながら、引き続き業務に励みます。

福澤 紅葉 さん



【(一社) 積丹観光協会】
(1年目)

今シーズンは SNS 投稿やさまざまなイベント、テレビ収録などを通じ、多角的な PR 活動ができました。

積丹町を知ると、きっと「行きたい！」と思ってもらえるはず。この確信を胸に、今後もより多くの方に届くよう活動を続けていきたいです。

藤野 明史 さん



【株式会社 SHAKOTAN GO】
(1年目)

岬の湯しゃこたんでは、サウナイベントを通じて町内外の人々が集い、積丹の魅力を再発見する機会を提供しています。

交流の輪を広げ、関係人口の拡大と地域の元気づくりに取り組んでいます。

11月のこよみ

1 (土)	●第55回積丹町文化祭「展示の部」(3日まで) 総合文化センター・ロビー	11 (火)	●税を考える週間「小学生の税に関する書道」作品展示 (17日まで) 総合文化センター・ロビー
2 (日)	●第55回積丹町文化祭「芸能発表の部」 13:00～ 総合文化センター交流大ホール	18 (火)	●リフレッシュ学級「秋の音楽療法体験」 ●B & Gブックフェスタ (20日まで) B & G海洋センター

文芸だより

— 11月の俳句 —
(美国踏青俳句会)

よく喋りよく笑ふ児や秋澄めり
熊情報語りて終るクラス会
腕撫でる風にも秋の気配かな
「だいじょうぶ」と医師の一言天高し
晩秋や父母の元へと納骨す
秋時雨アスファルトの影なかりけり

藤原 わ子
戸来 和子
河岸 悟郎
菊谷 知子
山崎美枝子
福井 新一

ふるさと納税の状況

全国の皆さま
ご協力ありがとうございました

《令和7年9月30日現在》 4,121件 58,320,000円

+ 11月の余市管内休日当番病院等 +

診療時間：午前9時～午後5時

日(曜日)	医療機関名	住所	電話番号
2日(日)	勤医協余市診療所	余市町黒川町	22-2861
3日(月)	田中内科医院	余市町浜中町	22-6125
9日(日)	小嶋内科	余市町黒川町	22-2245
16日(日)	林病院	余市町山田町	22-5188
23日(日)	池田内科クリニック	余市町黒川町	22-8811
24日(月)	黒川整形外科クリニック	余市町黒川町	22-2447
30日(日)	森内科胃腸科医院	仁木町北町	32-3455

※受診される方は、あらかじめ病院等に電話確認をお願いします。

積丹町スマートフォンアプリ「しゃくたん地域情報」

IP告知端末と同じ配信情報がスマートフォンから「いつでも」「どこでも」確認できます。



こちらからダウンロード

広報しゃくたんのアプリ配信を始めました!

スマートフォンアプリ「マチイロ」では、広報しゃくたんのカラー版を読むことができます。



こちらからダウンロード

積丹町公式LINEアカウントできました!

メニューの『AIチャットボット』からの問い合わせで、閉庁日や勤務時間外も回答しています。



こちらからぜひ友達登録

◆ し尿収集の日程・11月 ◆

日(曜日)	地区	日(曜日)	地区
12日(水)	神岬・草内	19日(水)	野塚
13日(木)	余別	25日(火)	〃
14日(金)	〃	26日(水)	日司
17日(月)	余別・来岸	27日(木)	日司・入舸
18日(火)	来岸・西河		

交通安全はみんなの願い

(ゼロ)

死亡交通事故 **0** の日

2,308 日達成

(令和7年10月1日現在)

人のうごき

世帯数 / 960世帯 (-4)
人口 / 1,634人 (-6)
男 / 767人 (-6)
女 / 867人 (±0)

●転入 / 5人(+4) ●転出 / 6人(+2)
●出生 / 1人(+1) ●死亡 / 6人(+3)

令和7年9月30日現在、()内は前月比

慶弔録

こんにちほよろこく(出生)

なまえ おとうさん とろ

おかあさん

かとう 実咲 良太 美国町

おくやみ(死亡)

高野 健治 76歳 婦美町
住吉 信雄 93歳 神岬町
中嶋 克之 81歳 美国町
横山 弘明 58歳 日司町

発行・編集 / 積丹町企画課 ■印刷 / 岩橋印刷株式会社
〒046-0292 北海道積丹郡積丹町大字美国町字船間48番地5
☎ 0135-44-2114 / FAX 0135-44-2125

ホームページアドレス <http://www.town.shakotan.lg.jp>
E-mail kikaku@town.shakotan.lg.jp